

耐震事件簿

なまずくの



新宇野マドカ



■よくわかる登場人物紹介■



なまずく先生

山根の勤める設計事務所
耐震本舗の所長にして
耐震のスペシャリスト。
朝起きたらなまずとミミズクの
ミックス「なまずく」になっていた。

山根 三太郎

耐震本舗の建築士をしている青年。
肩になまずく先生を乗せて行動する為
近所の子供達が集まってきてしまう
のが悩みの種。恋人募集中



吉村夫妻

大阪地震で家の耐震を
心配し、なまずくに調査を
依頼した30代前半の夫婦。
心配性の奥さんを旦那さんは
安心させようと頑張っている。



木造住宅の年代別の基準と危険性

	旧耐震	新耐震	最新の基準
年代	新耐震以前	1981年6月以降	2000年
特徴	基準を守っても耐震性不足 そのため耐震改修が推奨されその助成金がでることが多い	壁量は現行と同じだが、金物・バランスの規定がない 阪神淡路大震災のときに倒壊が少なかった	新耐震に加え金物の規定 地盤調査の義務化 金物の規定 バランスの規定 が加えられる
考えられる危険性	大幅に耐震性が足りていないので、大地震時に倒壊の可能性が高い	必要金物がついていなかったりバランスが悪い建物がある。 施工品質がバラバラで新耐震を満たしていない建物が多い	基準があっても設計者が耐震設計していないことがある。 施工側が基準を満たさない施工をしていることがある

つまり新耐震が必ずしも最新・安全な基準ではない

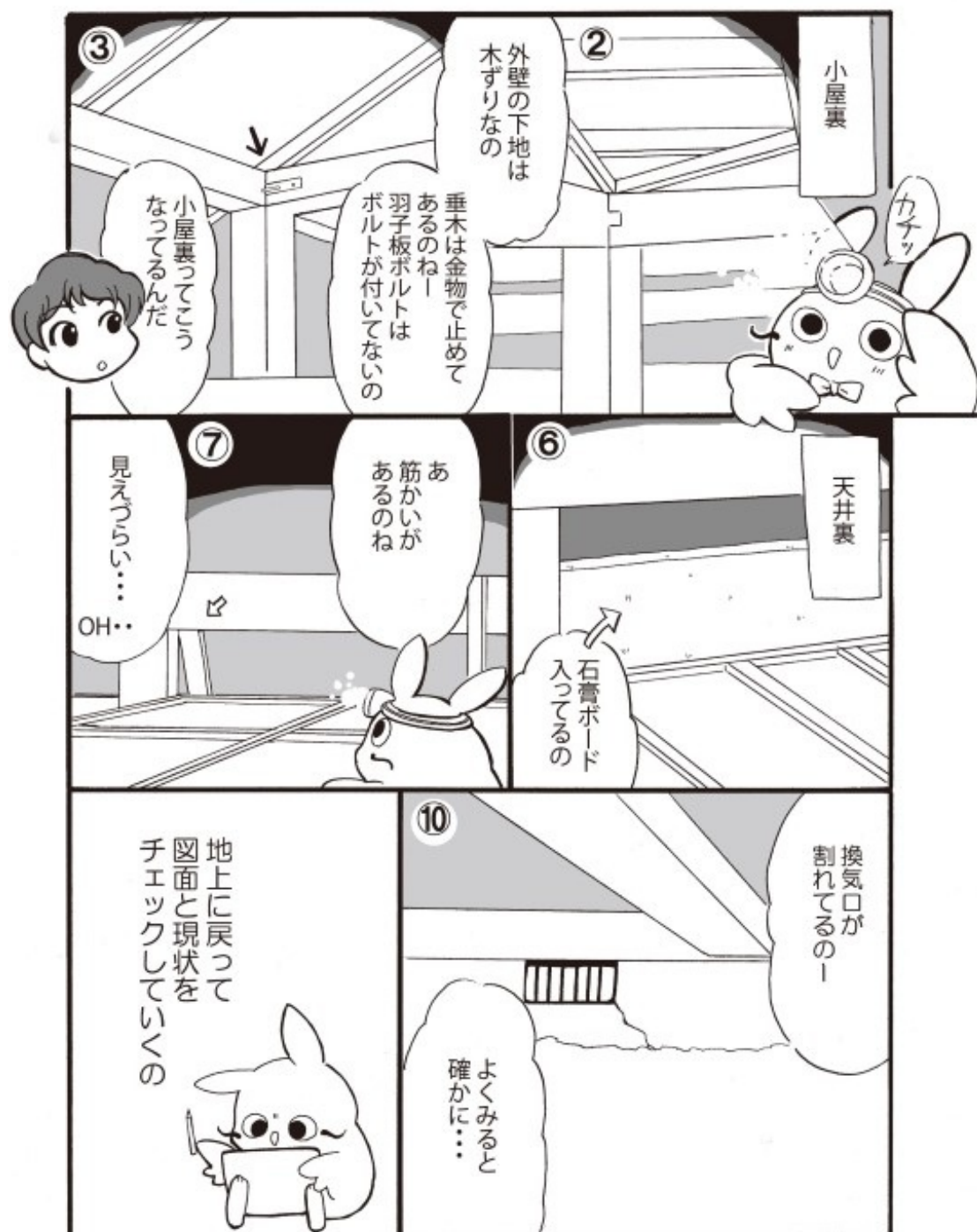


※本来は90cm以上必要になります。



①から順番にお読み下さい

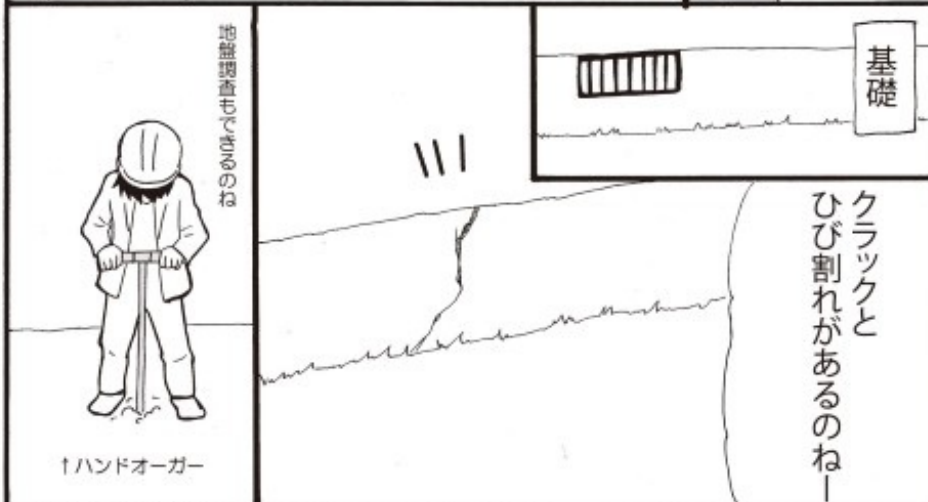
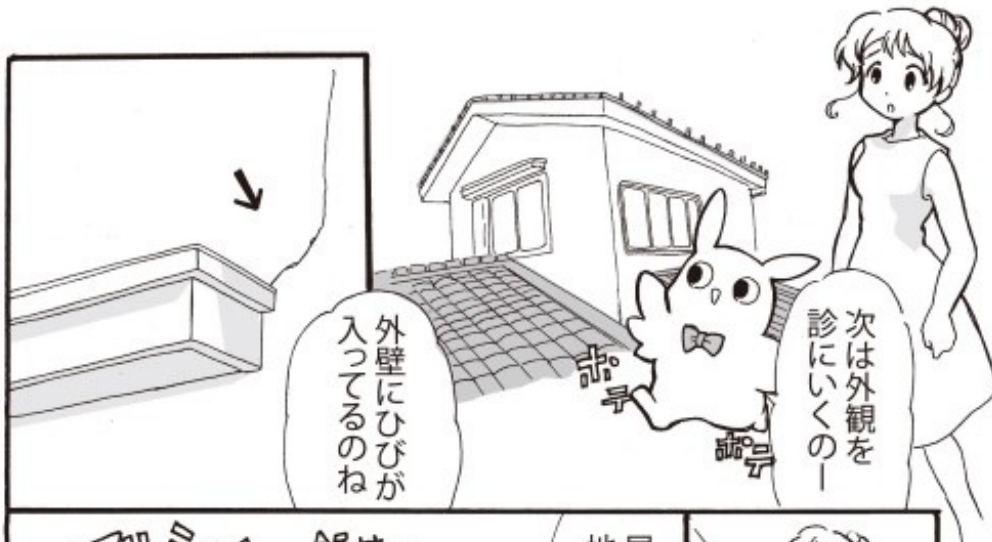




新耐震基準は安全？（１９８１年～２０００年の新築）

	新耐震
新耐震のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪神大震災で旧耐震に比べ損傷や倒壊が少なかった ・ 旧耐震に比べ必要壁量が大きくなり頑丈になった ・ 構造用合板など現在主流の材料を使えるようになった ・ 壁量計算のルール化が明確になった ・ 比較的簡単に耐震性を確保出来るようになった
危険性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年月が経ち老朽化が目立ってきた ・ 検査済証がない物件が多い（図面通りではない） ・ 構造審査がないので壁量計算されていないものがある ・ 金物がほとんど取り付けられていない、バランスが悪い建物がある ・ 建物が強くなり、金物が不足する建物が多い





調査が終わって…

やっ



なんだか…
悪そうですね
自信がなくなりました

はあ

筋かいも少なかった
ですし 金物も
なかったですね



ずうん

耐震性はかなり
低いと思います

先生お願いです！
この建物まだローンも
残っていますので
できるだけ安く補強して
下さい！

真剣！

いくら
くらいで
補強
できます
か？

診断して
みないと
わかりま
せんよ

そーなの

お時間
いただくのー

計算集計して
建物の強度を出すの

この資料を持ち帰り
診断して補強案を
作って今後について
考えましょうね

また
後日なのー